

# 奈良県の地震

## 【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

## 【奈良県地震概況】

## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

## 【地震一口メモ】

顕著な災害を起こした自然現象（地震）の名称について

「平成 30 年 7 月 9 日報道発表」より

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため 1989 年 1 月より月 1 回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

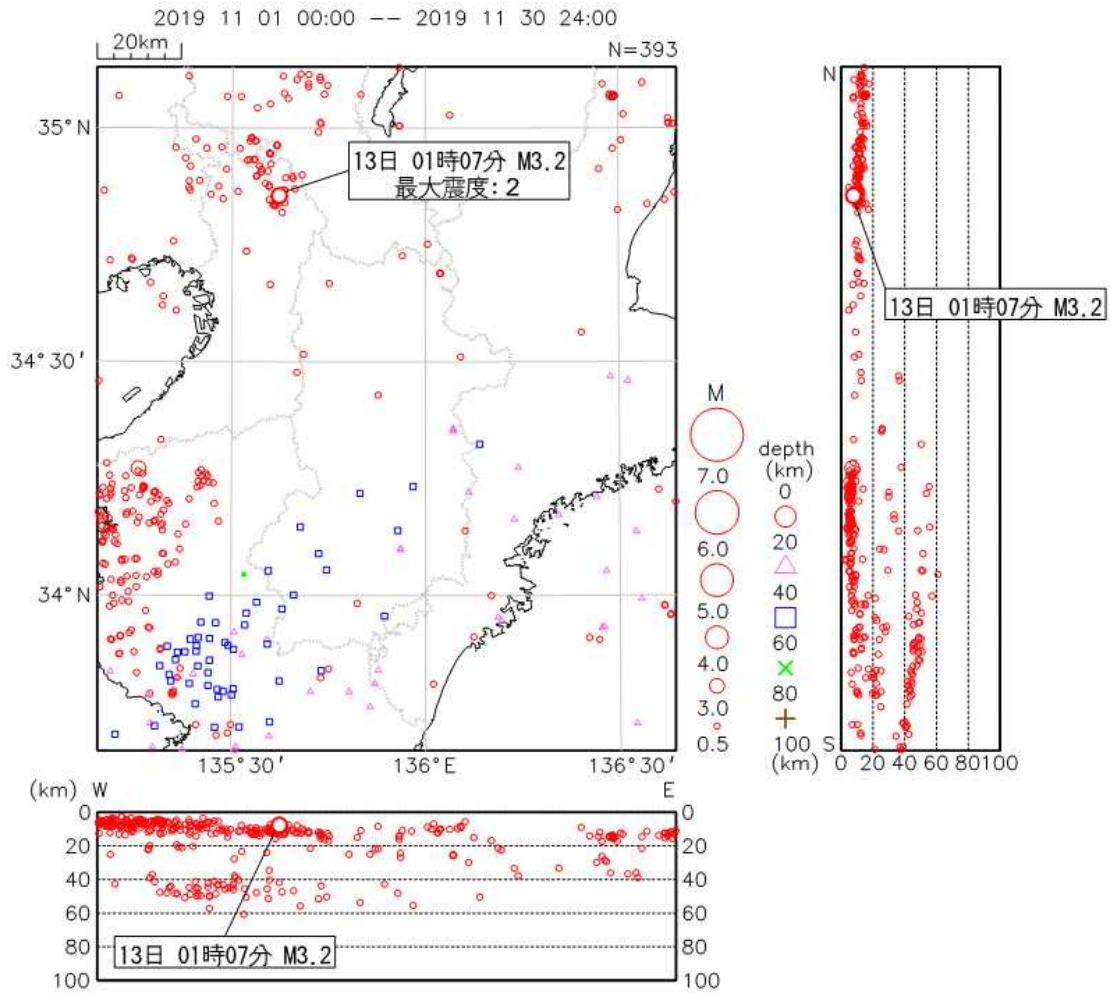
奈良地方気象台

2019 年 11 月

# 【奈良県の地震活動図】

## 震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



## 【奈良県地震概況】

13日 01時 07分 大阪府北部の地震(深さ 8 km、M3.2)により、奈良県内では大和郡山市・宇陀市で震度 1 を観測しました。

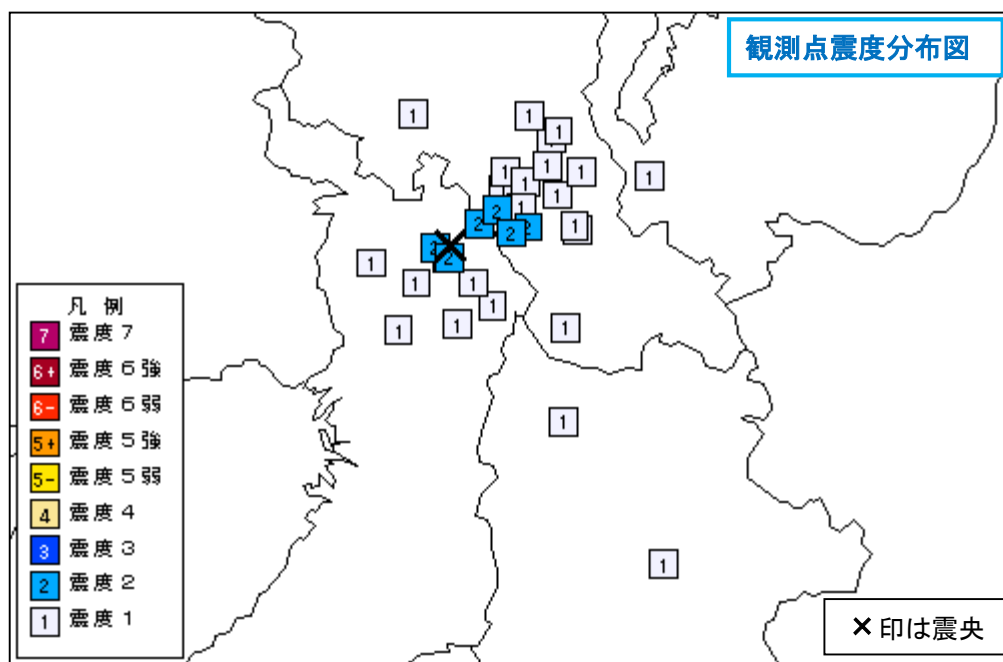
## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度 (奈良県内のみ記載)					
2019年11月13日01時07分	大阪府北部	34° 51.3' N	135° 37.2' E	8km	M3.2
奈良県 震度 1 : 大和郡山市北郡山町*, 宇陀市大宇陀迫間*					

\* 印は地方公共団体等の震度観測点です。

## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

2019年11月13日01時07分 大阪府北部 34° 51.3' N 135° 37.2' E 8km M3.2



# 【地震一口メモ】

～顕著な災害を起こした自然現象（地震）の名称について

「平成 30 年 7 月 9 日報道発表」より～

気象庁では、顕著な災害を起こした自然現象について名称を定めることとしています。名称を定めることにより、防災関係機関等による災害発生後の応急・復旧活動の円滑化を図るとともに、当該災害における経験や貴重な教訓を後世に伝承することを期待するものです。

また、各地域で独自に定められた災害やそれをもたらした自然現象の名称についても、後世への伝承の観点から利用し普及を図ることとしています。

## I 名称を定める基準及び付け方（地震）

### 1 名称を定める基準（地震）

#### （ア）地震の規模が大きい場合

陸域： M7.0 以上（深さ 100 km 以浅）かつ最大震度 5 強以上

海域： M7.5 以上（深さ 100 km 以浅）であり、かつ最大震度 5 強以上または津波の高さ 2 m 以上

#### （イ）顕著な被害が発生した場合（全壊家屋 100 棟程度以上の家屋被害、相当の人的被害など）

#### （ウ）群発地震で被害が大きかった場合等

### 2 名称の付け方（地震）

原則として、「元号年＋地震情報に用いる地域名＋地震」とします。

なお、定めた名称は、一連の地震活動全体を指します。また、アの基準を満たす地震が複数発生した場合には、原則として一連の地震活動が始まった時点の元号年を用います。

※ 名称を定める際に地域独自の名称がある場合には、それを考慮します。

名称を文書等で使用する際、必要に応じて元号年に続いて括弧書きで西暦年を併記する、又は元号年を西暦年に置き換えることがあります。

## II 名称を定める時期

名称を定める基準を満たす場合、できるだけ速やかに名称を定めます。

## III 地域独自の名称の普及

地域毎に、地方公共団体等が顕著な災害やそれをもたらした自然現象について独自の名称を通称として用いることがあります。

地方公共団体等がこれら地域独自の名称を定めるにあたっては気象庁は可能な限り協力するとともに、関連する資料等を作成する際には当該地域における後世への伝承の観点から当該名称を利用し、普及を図ります。

## 参考

自然現象の名称とは別に、政府が災害の呼称を定めることがあります（例：阪神・淡路大震災、東日本大震災）。

次頁に気象庁が名称を定めた地震現象一覧表を掲載します。

## 気象庁が名称を定めた地震現象一覧表

	名称	期間・現象等※	「地域独自の名称等」、主な被害
1	チリ地震津波	昭和35年5月23日	地震の規模は観測史上最大。東北地方を中心に太平洋側で津波により大きな被害。
2	北美濃地震	昭和36年8月19日	震央は石川・福井・岐阜県境。山崩れや道路損壊等。
3	宮城県北部地震	昭和37年4月30日	鉄道の脱線、道路や橋梁等に被害。
4	越前岬沖地震	昭和38年3月27日	山くずれや道路亀裂、墓石の転倒等の被害。
5	新潟地震	昭和39年6月16日	石油タンクの火災、橋梁に被害。液状化現象発生。
6	松代群発地震	昭和40年8月3日～	約5年間活発な地震活動が継続。震度1以上の地震は6万回以上。
7	えびの地震	昭和43年2月21日	被害を伴う地震が計4回発生。家屋等にも被害。
8	1968年日向灘地震	昭和43年4月1日	高知・愛媛県を中心に津波による被害。水産施設等にも被害。
9	1968年十勝沖地震	昭和43年5月16日	青森県を中心に被害。家屋や構造物に被害。山崩れ・がけ崩れ・地すべりでも被害。
10	1972年12月4日八丈島東方沖地震	昭和47年12月4日	八丈島で震度6。断水や道路損壊等の被害。青ヶ島でも被害。
11	1973年6月17日根室半島沖地震	昭和48年6月17日	津波により家屋、船舶等に被害。
12	1974年伊豆半島沖地震	昭和49年5月9日	斜面の地すべりにより家屋の埋没等。
13	1978年伊豆大島近海の地震	昭和53年1月14日	山崩れ、がけ崩れ、落石で被害。伊豆大島のほか、伊豆半島でも被害。
14	1978年宮城県沖地震	昭和53年6月12日	ブロック塀の倒壊により被害多数。断水や停電等の被害。
15	昭和57年(1982年)浦河沖地震	昭和57年3月21日	浦河町(北海道)で震度6。道路橋脚に被害。
16	昭和58年(1983年)日本海中部地震	昭和58年5月26日	日本海沿岸で津波により大きな被害。液状化現象や石油タンクの被害も発生。
17	昭和59年(1984年)長野県西部地震	昭和59年9月14日	「御嶽崩れ」とも。御嶽山で大規模な山崩れ。
18	平成5年(1993年)釧路沖地震	平成5年1月15日	震源の深さが100km以深の被害地震。家屋や構造物に被害。
19	平成5年(1993年)北海道南西沖地震	平成5年7月12日	「奥尻島の地震」、「奥尻島の津波」とも。津波と火災で大きな被害。
20	平成6年(1994年)北海道東方沖地震	平成6年10月4日	北方四島に大きな被害。東北地方でも津波により被害。
21	平成6年(1994年)三陸はるか沖地震	平成6年12月28日	家屋等の建造物や道路損壊等の被害。
22	平成7年(1995年)兵庫県南部地震	平成7年1月17日	「阪神・淡路大震災」。兵庫県内に震度7の地域。家屋の倒壊や火災により大きな被害。高速道路や新幹線の高架にも被害。
23	平成12年(2000年)鳥取県西部地震	平成12年10月6日	家屋等の被害や山崩れ、液状化現象が発生。
24	平成13年(2001年)芸予地震	平成13年3月24日	家屋等の被害や液状化現象が発生。
25	平成15年(2003年)十勝沖地震	平成15年9月26日	津波により被害。石油タンクのスロッシングによる火災も発生。
26	平成16年(2004年)新潟県中越地震	平成16年10月23日	「新潟県中越大震災」とも。川口町(現:長岡市)で震度7。規模の大きな山崩れや岩盤崩壊が発生し、道路が寸断。河道閉塞も発生。
27	平成19年(2007年)能登半島地震	平成19年3月25日	家屋等の被害や山崩れが発生。
28	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震	平成19年7月16日	家屋等の被害のほか、山崩れにより鉄道が寸断。
29	平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震	平成20年6月14日	家屋等の被害のほか、大規模な山崩れや河道閉塞が発生。
30	平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震	平成23年3月11日	「東日本大震災」。栗原市(宮城県)で震度7。東北地方を中心に津波により大きな被害。長周期地震動や液状化現象により被害も発生。
31	平成28年(2016年)熊本地震	平成28年4月14日	益城町(熊本県)(4月14日、4月16日)、西原村(熊本県)(4月16日)で震度7。家屋等の被害のほか、大規模な山崩れが発生。
32	平成30年北海道胆振東部地震	平成30年9月6日	厚真町(北海道)で震度7。厚真町を中心に多数の山崩れ、道内で大規模停電。

※ 地震については、一連の地震活動が始まった日を記載

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去3年間程度分掲載しています。  
URL: <https://www.jma-net.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

